

第14回

“高齢社会” いつかは自分も…

講師

永田 智子

高齢者になると、就業による収入を得ることが難しく、心身の機能が低下する老化によって日常生活を送ることも困難になっていきます。今回はこの課題を解決するための年金制度や介護保険・介護サービスについて学びます。また、高齢者の増加に伴い、介護者や介護施設の不足なども深刻です。若者に介護の重い負担がかかっている事例や、介護用ロボットの開発、地域で高齢者を見守る事例を知り、高齢者を支える社会のしくみや工夫について考えていきましょう。

◆◆◆ きょうのキーワード ◆◆◆

年金制度

高齢期でも継続的に収入が得られるように「**年金制度**」があります。日本の年金制度には、すべての国民の加入する「**国民年金**」と、一定の条件を満たすサラリーマンなどが加入する「**厚生年金**」があります。また民間が運営する「**個人年金**」や「**企業年金**」もあります。

公的年金である国民年金は、国庫と20歳以上60歳未満の現役世代が納付した保険料によって給付されます。この考え方を「**世代間扶養**」といいます。なお公的年金の給付の種類には、老後にももらえる「**老齢年金**」だけでなく、けがや病気などで重い障害を負った場合に受給できる「**障害年金**」や家族が亡くなったときに遺族が受給できる「**遺族年金**」があります。

国民年金の保険料負担は20歳からですが、学生には支払いが猶予される「**学生納付特例制度**」があります。この制度の利用を申請すれば、在学期間中の保険料納付が猶予され、加入期間として認められます。もしこの制度を利用せず滞納すると、年金給付の対象外となってしまう場合があります。

介護保険・介護サービス

「**介護保険**」は高齢者の中でも特に75歳以上の後期高齢者の増加に伴って2000年に導入された制度です。介護保険には日本に住所を持つ40歳以上の人すべてが加入し、毎月、保険料を負担します。介護保険に加入していると、要介護の認定を受け、その認定に基づいて、費用の1～3割を負担し、デイサービスなどの通所介護や、訪問介護などの「**介護サービス**」を受けることができます。

ケアラー

介護などの助けを必要とする人に何らかの形でかかわることを「**ケア**」といい、家族などを無償でケアする人のことを「**ケアラー**」と言います。特に、若い世代で介護を担う人を「**ヤングケアラー**」と呼びます。家族のケアによって、友人関係や勉強、進学、就職などに影響する場合があります。ヤングケアラーをめぐるのは、近年その問題性が強く指摘されています。

また、高齢者が高齢者を介護する「**老老介護**」や認知症同士で介護しあう「**認認介護**」といった事例も増えており、「**介護疲れ**」やストレスによる「**高齢者虐待**」なども深刻な社会問題となっています。

このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

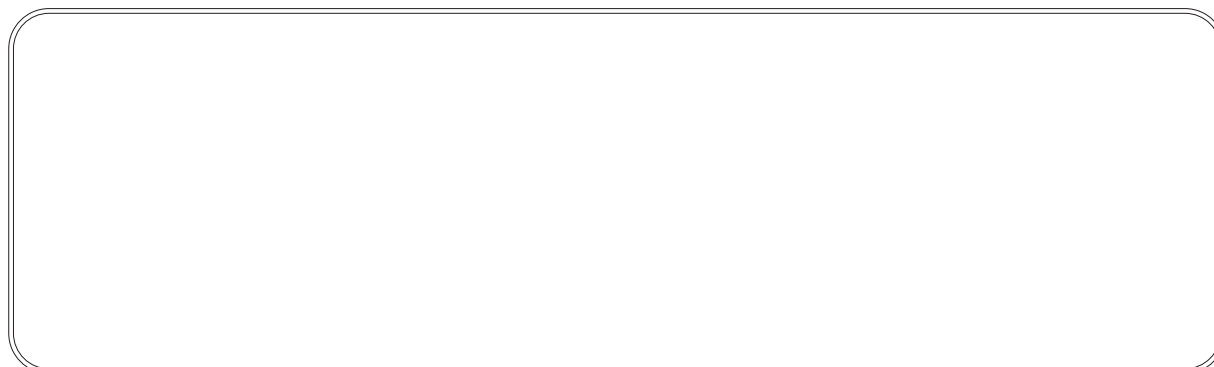
地域包括ケアシステム

高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援サービスなどが包括的・継続的に利用できる「地域包括ケアシステム」について、2025年をめどに構築しようと厚生労働省が推進し、各地で取り組みが行われています。人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少している町村部など、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。「地域包括ケアシステム」は、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。介護保険での「地域密着型サービス」の充実のほか、公的なサービスだけにとどまらない地域の実情に応じた多様な活動が期待されています。

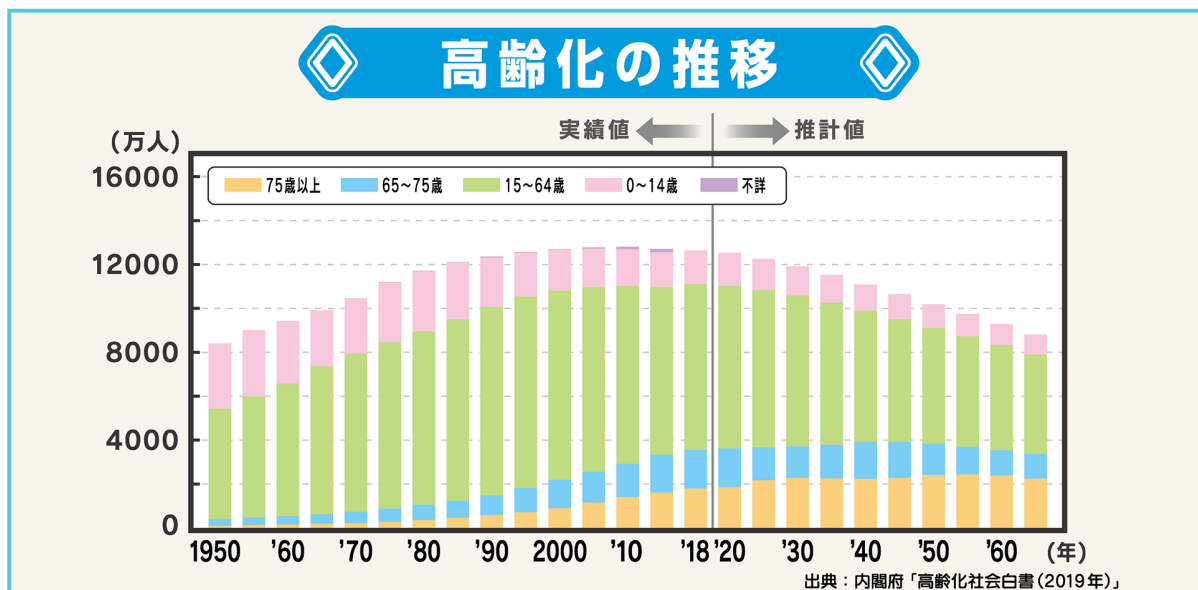
1 年金制度とは？

高齢者にとって年金制度はなぜ必要なのか。

また、なぜ若者が年金保険料を納付しなければならないのか、考えてみましょう。



《参考資料》

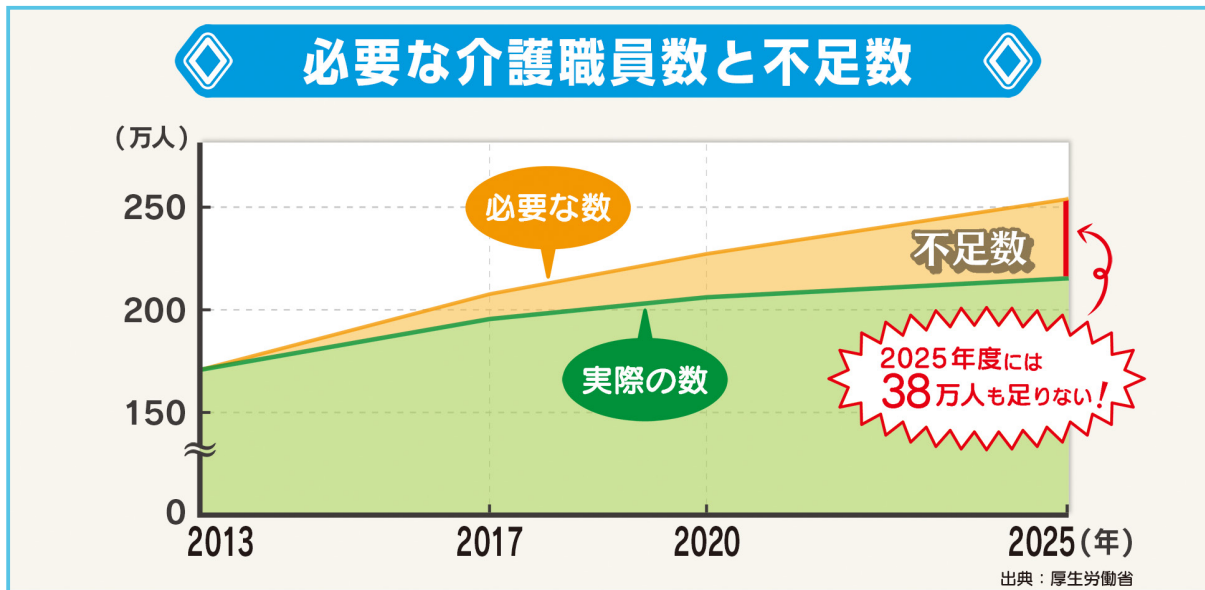


このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

2 介護保険・介護サービス

介護に関する社会問題にはどのようなものがあるでしょうか？
また、その問題を解決する方法としてどのようなものがあるか、まとめてみましょう。

《参考資料》



memo

3 高齢者を支える地域社会の役割

自分が住む市区町村において、介護保険で利用できる介護サービスにはどのようなものがあるか、また高齢者を支えるためにどのような取り組みが行われているか、インターネットなどで調べてまとめてみましょう。

きょうのまとめ

日本の高齢者を支えるための社会のしくみについて理解し、どんな問題があるのか、自分が高齢者になるころをイメージしながら、これからどんな社会になればよいのか、どんな社会を築いていけばよいのか、考えてみましょう。

《参考文献・サイト～もっと学びを深めたいあなたへ～》

☆ 厚生労働省『マンガで読む「一緒に検証！公的年金」』

<https://www.mhlw.go.jp/nenkinkenshou/index.html>

(※ページが変更になる可能性もあります。その際は厚生労働省のホームページから調べてください。)

☆ 澁谷智子『ヤングケアラー 介護を担う子ども・若者の現実』中公新書

memo